

## 阿波市特定事業主行動計画 平成26年度進捗状況について

「阿波市特定事業主行動計画」は、次世代育成支援対策推進法の規定に基づいて、阿波市職員が仕事と子育ての両立を図ることができ、職場においてもその能力を十分に発揮できるよう、職場をあげて支援する環境整備を進めることを目的に策定された計画です。前期計画に引き続き平成26年度までの後期計画を策定しています。平成26年度の阿波市特定事業主行動計画進捗状況については次のとおりです。

### (1) 制度の周知状況

- ・ 該当職員への休暇制度、育児休業等の啓発。  
諸制度に関するパンフレットを作成し、庁内LAN様式集に掲載。

### (2) 産前産後育児休業取得時の代替要員の確保

- ・ 保育士、調理員など専門職においては確保。
- ・ 一般事務職については、異動等により対応となっている。

### (3) 育児休業取得率

男性職員 0% (設定目標率 5%)  
新規取得対象職員数3名 うち取得者0名  
女性職員 100% (設定目標率100%)  
新規取得対象職員数3名 うち取得者3名  
(継続取得者7名)

### (4) 父親の特別休暇(配偶者の出産)取得率

100% (設定目標率100%)  
取得対象職員数3名  
うち 3日取得 3名



### (5) 職員平均年次休暇取得日数

11.09日(設定目標日数14日) 対象職員382名

### (6) ノー残業デイの推進

- ・ 庁内放送等にて呼びかけ、毎週水曜日に実施した。

### (7) その他

#### ○子育てバリアフリー

- ・ 本庁(平成27年1月新庁舎に移転)、相談室等にキッズスペース設置。子育て支援窓口にはベビーベッド、キッズコーナーを設置、庁舎内のトイレには男女ともに、ベビーチェアを完備。多目的トイレには、おむつ交換台を設置し、子育てバリアフリーの充実を図った。
- ・ 庁舎に隣接する交流防災拠点施設(アエルワ)には、幼児専用トイレを完備。また、ベビーベッドの設置や、さらに、授乳室を設け、授乳中の母親等が気軽に授乳できるスペースとして完備している。

## 26年度の状況と今後の取り組み

- ・ 後期計画期間の最終年となる26年度においては、前期計画期間からの取組もあり、仕事と家庭・子育ての両立については職員の理解も得られ、休暇制度、育児休業等の取得は定着している。
- ・ 産前産後育休時の代替要員については、専門職においては臨時的任用職員を確保できたが、一般事務職は全体的な定員管理、定員適正化の視点から臨時職員を任用することなく異動等における対応となっている。26年度においても、所属長が職場内の仕事の分担の見直し等を図り、円滑に休業中職員の対応は実施できた。今後、代替要員の確保、後任配置等について、職員が安心して休暇、休業を取得する職場づくりのためには重要課題である。
- ・ 育児休業取得率に関しては、本市女性職員は、取得期間には長短の差異はあるが100%育児休業を取得した。また、男性職員については他に養育することができる配偶者等がいるため取得する職員はいない現状であった。今後も育児休業取得予定者への啓発はもちろん、育児休業を取りやすい環境づくりに努めていく。
- ・ 父親の特別休暇（配偶者の出産）取得については、取得しやすい職場環境づくりに努めた結果、対象職員の特別休暇（3日）の100%取得につながった。
- ・ 年次休暇については、平均で11.09日の取得となっており、横ばい傾向にある。また、部署により取得のばらつきがあるため、今後も事務の見直しやスタッフ制を各部署にて円滑に活用し、年次休暇取得の促進に努め、取得目標の14日を目指す。
- ・ 水曜日に設定したノー残業デイは、職員間にも定着し実施状況は良好であるが、時期によっては困難な場合もあり、引き続き啓発を続ける。
- ・ その他次世代育成支援対策に関する事項として、子育てバリアフリーについては、新庁舎完成に伴い本庁内のキッズコーナーの設備や備品（ベビーベット）の設置、庁舎内トイレには小さなお子様連れでも安心して利用できるよう、男女ともにベビーチェアを完備。さらに、多目的トイレとしておむつ交換台を設置。支所には継続してベビーカーの設置により利用も好評であり、子ども連れの来庁者への対応も親切、適切に実施されている。

また、新庁舎に隣接する交流防災拠点施設には、幼児専用トイレの完備や授乳室を設け、授乳中でも気軽に施設利用できるよう子育てにやさしい設備を整えている。

今後も「ワーク・ライフ・バランス」特に仕事と子育ての両立の実現に向けて、職場全体で環境づくりに取り組むとともに、職員の子ども・子育てに関する地域貢献活動についての支援は、働きかけ等が未実施であるので、子ども・子育てに関する地域活動に職員が貢献できる環境を整え、参加を奨励していく。